



ROTARY CLUB OF KASHIWA-NISHI

第2790地区

柏西ロータリークラブ

創立:1975年11月7日 承認:1975年11月24日

会報 第1626号

第1653回

第10分区合同例会及びIM【2010.2.2】

会長/金本元章

幹事/小林太時

四つのテスト

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



■柏西ロータリークラブURL.http://kashiwa-nishi-rc.com/

■第2790地区ロータリークラブURL.http://www.rid2790.jp/2009/

### 第10分区合同例会

第2790地区 第10分区  
Intercity Meeting  
インターシティミーティング

地区テーマ「Change & Create」  
ロータリー変らねばならぬ事、  
受け継がれる事

2009-2010年度 国際ロータリーのテーマ

開催日時 2010(平成22年)2月2日(火)  
合同例会・I.M.  
午後12時20分(点鐘)～午後5時  
(登録受付 午後12時)

場 所 三井ガーデンホテル柏

### 2009～2010年度 国際ロータリー第2790地区第10分区 合同例会及びI.M.

テーマ

『ロータリー変らねばならぬ事、受け継がれる事』

日時…平成22年2月2日(火) 場所…三井ガーデンホテル柏

〈合同例会〉	司会	補佐幹事	丸田 勝功
12:00～	登録受付		
12:20～	点鐘	ガバナー補佐	瀧日 明
	国家斉唱「君が代」		
	ロータリーソング「奉仕の理想」		
	来賓紹介・ゲスト紹介	ガバナー補佐	瀧日 明
	参加クラブ紹介	ガバナー補佐	瀧日 明
	物故会員への黙祷		
	ホストクラブ会長歓迎挨拶	我孫子RC会長	上村 文明
	来賓挨拶	柏市長	秋山 浩保
		我孫子市長	星野 順一郎
	幹事報告	柏西RC幹事	小林 太時
	点鐘	ガバナー補佐	瀧日 明
12:50～	昼食		
〈I.M.〉			
13:20～	ガバナー補佐挨拶	ガバナー補佐	瀧日 明
13:30～	2790地区ガバナー挨拶	ガバナー	中村 博互
13:50～14:50	記念講演「ラグビーと組織論」	NECグリーンロケッツGM	細谷 直
(休憩)			
15:00～15:40	クラブ単位テーブルディスカッション		
15:40～16:30	クラブ単位テーブルディスカッション発表		
16:30～	感想	ガバナー補佐	瀧日 明
	前ガバナー補佐への感謝状及び記念品贈呈		
	次期ガバナー補佐紹介	柏西RC	飯合 幸夫
	次期ホストクラブ会長挨拶	柏西RC	中村 佳弘
	閉会の挨拶	ガバナー補佐	瀧日 明
〈懇親会〉			
17:00～	各クラブ会長幹事(今年度、次年度)		
	ガバナー補佐、補佐幹事(今年度、次年度)		

#### ■司会



#### ■点鐘



#### ■ホストクラブ会長歓迎挨拶



#### ■柏市長ご挨拶



#### ■我孫子市長ご挨拶



■例会日/金曜日 12:30～13:30

■例会場/ザ・クレストホテル柏

〒277-0842 柏市末広町14-1

TEL.04-7146-1111 FAX.04-7146-2100

■事務所/〒277-0011 柏市東上町7-18

柏商工会議所会館 505

TEL.04-7162-2323 FAX.04-7166-8282

E-mail:kashiwanishi@io.ocn.ne.jp

■参加クラブ紹介



■例会風景



■お料理



## インターミーティング (I.M.)

### I.M.開催のご挨拶

2009～2010年度 第10分区合同例会及びI.M.の開催に寄せて



国際ロータリー第2790地区  
第10分区ガバナー補佐 瀧日明  
(我孫子ロータリークラブ)

皆さんこんにちは。本日は「第10分区合同例会及びI.M.」の開催に当り、ご多用の中、ご来賓として柏市長秋山浩保様、我孫子市長星野順一郎様、ゲストとしてガバナー中村博眞様、記念講演のために、NECグリーンロケッツGM細谷直様をお迎えし、同時に区内の各クラブからこのように多数の会員の皆様の参加を頂きました事を、大変有難く、心より御礼申し上げます。

さて、私は今回のI.M.のテーマとして「ロータリー変わらねばならぬ事、受け継がれる事」を掲げました。これは中村ガバナーの地区テーマ「Change & Create」を意識したものであります。

2008年9月のリーマンショックに始まる金融危機、100年に一度の不況は、皆様身にしみてお感じになっている通りであり、GMの破綻に代表されるように2009年は正に激動の年でした。2010年も未だ大きな余波が残っており、ナショナルフラッグであるべき日本航空の破綻が避けられない状態です。

このような社会・経済情勢のなか、我々の価値観も大きく変化しつつあると思います。私などがしゃべりに備えた時代は、物の量かさが幸せをもたらすと感じていた時代でした。しかし、金融資本主義の行き詰まりを感じさせるこの激動の渦中で、物の数・量ではなく精神的な量かさに幸せを感じるような価値観の変化が見られる気が致します。

ロータリーの歴史に関する書物によれば、ポール・ハリスがロータリークラブ創設した当初は、当時の荒廃した世帯のなかで、人間らしい心の温まる付き合いを求めて、親睦・交友を中心としたクラブとしてスタートしたものであり、最初から職業奉仕、社会奉仕等を標榜したものではありませんでした。しかし、それが時代のニーズにマッチし、3年後には数百人を数えるクラブに発展したと述べられております。やがて、クラブ会員の中から職業奉仕への関心が高まってロータリーの実践哲学として取り入れられ、そこから社会奉仕に成長し、それが拡大して国際奉仕になったものようでもあります。このようなロータリーの思想の発展は社会情勢の変化を反映しているものと思われ、ロータリー情報集によれば、ポール・ハリスは「世界は常に変化している。ロータリーは、この世界と共に変化して成長していかなければならない。ロータリーの物語は幾度も書きかえられねばならない」と述べております。

従来、ロータリーの奉仕は個人個人の意識から発するものであり、奉仕の主体はロータリアン一人一人にあるのであって、クラブが団体として奉仕するものは本筋ではないと教えられてきました。しかし、現在はRIが団体として主導する社会奉仕にロータリアンが協力する姿になってきたようです。これは時代の流れを反映したものでしょうか。1923年の決議「23-34」が表舞台から消えたのも時代の流れのようです。

今回のテーマはこのような事態を見つめながら、皆さんが自由な発想で、「ロータリー変わらねばならぬ事、受け継がれる事」を議論して頂くことを期待したものです。決して結論を求めるものではありません。問題意識を共有して頂くことが主眼であります。どうぞよろしく願っています。

ありがとうございました。

「ご挨拶、IM(Intercity Meeting)開催にあたり」



国際ロータリー第2790地区  
ガバナー 中村 博眞 (柏西RC)

第10分区の皆様、本日はIM開催おめでとうございます。IMは、以前はIGF(Intercity General Forum)と呼ばれ、近隣都市の数クラブが集まって、ロータリー情報や会員の教育としての研究や討論を行う会合でしたが、最近ではIMと呼ぶのが普通になりました。内容はほとんど変わりません。

今私は、各分区のガバナー補佐の皆様にもインシヤチブを取って頂き、分区の独自のテーマでフォーラムを造って頂く方法を取らせて頂きました。貴分区は瀧日明ガバナー補佐のリーダーシップの下、大変活発に奉仕の実践に取り組んでおられる分区でありますだけに、「ロータリー変わらねばならぬ事、受け継がれる事」と云うテーマは大変面白い又、考えさせられるテーマだと思います。なぜならこの問題を議論するには、ロータリーをよく知らねばならないからです。そこで私は皆様の一つの問題を出したいと思ひます。それは、「社会奉仕に関する1923年の声明」、所謂「決議23-34」を考えると云う問題です。この「決議23-34」はロータリーの奉仕全体を考えるのに最も適した教材になるからです。

今から約100年前、親睦と相互扶助からスタートしたロータリーが1910年代始めに職業奉仕の大切さを訴え、その理念を確立しました。又、1910年代の後半には、社会奉仕の大切さを訴え、職業奉仕か社会奉仕かの大激論になり、分裂の危機を迎えました。それを救ったのが「社会奉仕に関する1923年の声明」、所謂「決議23-34」なのです。今、2009年度のロータリー章典からこの「決議23-34」が削除されました。ロータリーは変わってきたのです。何故、変わらねばならないのでしょうか？この問題を議論されることで、われわれが受け継いでいかねばならない事柄も見えてくるものと思ひます。

今ロータリーは世界で最も称賛される奉仕団体から世界で最も重要なNGOに成ることを目指しております。そのためには会員一人一人がボランティアとしての自覚を持ち、地域のニーズに対応するような奉仕活動を実施し、地域の人々にロータリーの存在を知ってもらうよう努めなければなりません。

貴分区は、県北に位置し首都東京に隣接し、多くの千葉県民が在住する県内でも最も活気のある進歩的で発展的な地域であります。各クラブからは多くの地区指導者を輩出し、地区のリーダーシップを取っておられます。このような人材豊富な分区でのフォーラムは熱を帯びたものになることと期待しております。

「ロータリーの未来はあなたの手の手に」本日のIMが皆様にとりまして意義ある会合になりますことを祈念して私の挨拶に代えさせていただきます。



# 記念講演

## NECグリーンロケッツ GM 細谷 直 様



プロフィール

- ・1964年10月生まれ 45歳
- ・明治大学入学とともに、生涯の師 北島忠治先生の下、ラグビーを始める。
- ・1987年に入社、NECで1992年3月までプレー。
- ・現役時代から10年間、相支店で製造業マーケットのソリューション営業に従事。
- ・1996年よりチーム強化の為、ラグビー部に復帰し、採用・戦略・分析を担当。
- ・2000年 チーム運営全般を担うチームディレクターに就任し、
- ・2002年 太田治監督(現ラグビー日本代表GM)を補佐し、日本一への礎を築く。
- ・2003年4月 NECスポーツ全体を統括するプロデューサーに就任。
- ・2007年3月よりNECグリーンロケッツ監督就任、2009年度シーズンからはGMに就任。
- ・2006年度～2008年度 日本ラグビーフットボール協会マーケティング委員にも従事。

NECグリーンロケッツ  
ゼネラルマネージャー  
細谷 直 様



### 観戦を預定するポイント

- 誰もがわかるような、単純明快な言葉で言語化されていない
- 観戦の期待する数値に違い、グラウンドで観る選手が現状
- 観戦において、的確(ベター)な判断が出来なければならぬ
- ベターの判断の積み重ねがベストな結果に結びつく
- 面白い問題や課題に直面した時、原点に立ち返ることが出来る
- 得勝てなければならぬ
- 向こう5年間くらいは観戦を享受するものでなければならぬ

「事実は何か?」「課題は何か?」「アクションは何か?」  
(観戦の行前話し)

「戦略」は磁石でなければならない!

### 強化スポーツの存在意義

ONE NECを実現するための貴重な経営資源となること

一体感醸成	経営資源化	ONE NECは強固なNECグループのスポーツへ
ブランド向上	+	経営資源(CM本部・営業との連携)企業広報機能強化(CC部、営業部との連携)
日本スポーツ界への貢献		年間社会貢献(CC部、経営資源部との連携)
コストセンター		パフォーマンスセンター

### ラグビーの魅力2

#### 「努力が運を支配する」

スポーツでは良く運を味方につけるという表現がある。ラグビーでは横円球のボールが故に、予測が出来ない。転がりで勝敗が決する場面がある。ただ、ボールが転がり込むは平等ではなく、努力をきたした選手にボールが転がった瞬間である。まさしく、努力が運を支配した瞬間である。

**No Pain No Gain**

### サンケイスポーツの記事

ラグビーの魅力を伝える記事のスクリーンショット

### ラグビーの活動ビジョン

勝ち (勝利) と 価値 (貢献) の両方を追求する

グリーンロケッツの活動ビジョン

「勝つこと」を追求する

「価値」を追求する

「勝つこと」と「価値」の両方を追求する

「勝つこと」を追求する

「価値」を追求する

「勝つこと」と「価値」の両方を追求する

### ラグビーの魅力3

#### 自己規律のスポーツ、勝者が賞されるスポーツ

ラグビーは、1人が全員のために、全員が1人のために身体を振り回し、全力でサポートを続ける「自己規律のスポーツ」と呼ばれている。

平均点の高い選手を集めるよりも、ある部分で突出した個性(能力)を持っている選手を15人揃えたほうが強いチームが作れる。

**One for ALL, ALL for One**

### パフォーマンスの鍵は「心の強さ」

仕事で成功する人・勝負に勝つ人は、いつも100%自分らしさを生かせる。得意なことを、得意な方法で、得意な相手と戦っている。

過去の失敗や責められた環境にとらわれず

今という一瞬の勝負に集中し

未来を変える

### ラグビーはどんなスポーツ?

#### 格闘技的要素を含んだ球技

両チーム合わせて30人の選手がトライするために、自分自身の身を犠牲にして身体をぶつけ合い、1つのボールを奪い合って攻勢を繰り返す、いわばボールを使った格闘技。鍛え上げた「肉体」と研ぎ澄まされた「技術」の勝負に加え、一瞬の状況を素早く判断し、最も適しているプレーを選択する「判断力、決断力」を要するスポーツ。

最も大事な要素は逆境に立たされた時に、立ち向かっていく「強い精神力」を持ち続けること

### ラグビーが有するスピリッツ

勇気 (Courage)	規律 (Discipline)	勇気 (Courage)	規律 (Discipline)
自己規律 (Self-discipline)	自己規律 (Self-discipline)	自己規律 (Self-discipline)	自己規律 (Self-discipline)
自己規律 (Self-discipline)	自己規律 (Self-discipline)	自己規律 (Self-discipline)	自己規律 (Self-discipline)

自己規律された人間形成のモデルスポーツ

### 最後に・・・私の座右の銘

# 勝つことのみが善である

### ラグビーの魅力1

#### 昨日の敵は今日の友

ラグビーでは試合終了を告げるゴールを「ノーサイド」という。これは、これまで相対して戦ってきた敵同士が、試合終了の瞬間に仲間になるという意味が込められている。また、ラグビーでは試合終了後にニアフタマッチファンクという場を設け、両チームが互いの賛辞を授け合うという文化がある。

**ノーサイドの精神**

(真実勝負の世界で身を賭けて闘い抜いた者同士に生まれる特別な感情)

### GM・監督の役割

- ・現状分析をしっかりとすること
- ・ビジョン(目標・戦略)を打ち出し、それらを遂行するためのストーリーやシナリオを描き、選手に提示すること
- ・絶対にぶれない信念を持ち続けること
- ・決断力と言葉力を有すること

リーダーや指揮官は「演出家」であれ!

皆様に勇気と感動が伝わるラグビーで、日本選手権を戦って参ります。熱いご声援よろしくお願い致します。

**クラブ単位  
テーブルディスカッション  
発表**

■柏 RC



■柏西 RC



■沼南 RC



■柏南 RC



■我孫子 RC



■前ガバナー補佐への感謝状及び記念品贈呈



■次期ガバナー補佐紹介



■次期ホストクラブ会長挨拶



**その他報告**

2010～2011年度 主要会議日程		
地区主要会議日程及び会場		
1.地区チーム研修セミナー	2010年 3月 7日(日)	ホテルニューオータニ幕張
2.会長エレクト研修セミナー	2010年 3月 27日(土)	ホテルニューオータニ幕張
3.地区協議会	2010年 4月 29日(木)	アパリゾート東京ベイ幕張
4.地区大会記念ゴルフ大会	2010年 10月 4日(月)	レインボーヒルズカントリークラブ
5.地区大会	2010年 11月 6日(土)	犬吠埼京成ホテル
	2010年 11月 7日(日)	銚子市青少年文化会館
ガバナー公式訪問		
柏西ロータリークラブ	2010年 7月 23日(金)	(昼間例会)ザ・クレストホテル柏
我孫子ロータリークラブ	2010年 8月 3日(火)	(昼間例会)ホテルマークワンアピコ
柏南ロータリークラブ	2010年 9月 14日(火)	(昼間例会)廣池学園麗澤キャンパスプラザ
柏ロータリークラブ	2010年 9月 15日(水)	(昼間例会)三井ガーデンホテル柏
沼南ロータリークラブ	2010年 11月 11日(木)	(昼間例会)柏市沼南商工会館

●次回の例会は **2月 19日(金)**です。

クラブ会報委員／水野 晋治・富田 正雄・渡邊 雅志  
田代 健一・秋山 弘昭

**欠席報告は、水曜日の正午まで**

※食事の無駄をなくする為に協力して下さい。

SAA 田中 一成まで：090-6955-1920